

子どもの困り感に寄り添う支援ツール

支援領域	項目	子どもの姿	専門職から見た具体的な視点	該当に ○印	背景要因	
感覚	1 音に対する反応 (聴覚)	①音や声に対して反応しない	聞こえていないので振り向かない		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境	
			大きな音に対して、音のする方を向いたり、体をビクッとさせたり、驚いたりするなどの反応を見せない			
			確実に音刺激だけで振り向くなどの反応がない			
		②音や声に対して関心がない	起きている時に、誰かが話しかけても反応が見られなかったり、周りの音に関心を示さない			
		聞こえているが、対人不安・対人緊張が強くて、振り向きたくない				
		聞こえているが、自分がしていることに夢中になって気が付かない				
		③音や声に対して耳をふさぐ	周りの音や声に神経質に反応し、不安定になる			
		④その他	(自由記述)			
	2 皮膚接触に対する 反応 (触覚)	①人や物に触ることに抵抗がある	触ることに過敏である・鈍感である		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境	
			②人や物に触られることに抵抗がある	触られることに過敏である・鈍感である		
			③温かい、冷たいに鈍感である	お風呂の温度や飲み物の温度が感じられない		
			④その他	(自由記述)		
	3 目視に対する反応 (視覚)	①見ることに反応しない又は、反応が鈍い	乳児期	大きな物体を目で追視しない		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
				目の前の物に手を伸ばしてつかもうとしない		
			幼児期	眼球の動きが不自然である		
				物を見る時、横目使いで見たり、顔を傾けて見る		
				物を見る時、目を細めたり、極端に近づけたりする		
			色の区別が難しい様子がある			
			目つきや目の動きに違和感がある			
		②光に対する反応が敏感か反応が鈍い	極端に光を嫌がる			
			明るく照らすと瞬きをする			
			③視線が合わない又は、合わそうとしない	視線が合わない		
		視線を合わそうとしない				
	④その他	(自由記述)				
4 匂いに対する反応 (嗅覚)	①匂いに敏感か反応が鈍い	くさいと頻繁に訴える		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境		
		人が嫌がる匂いに反応を示さない				
	②その他	(自由記述)				
5 味に対する反応 (味覚)	(11「食への関心」参照)			A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境		
6 運動・姿勢の偏り (固有受容感覚)	①関節の曲げ伸ばしに偏りがある	動きがぎこちない		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境		
		不器用である				
		行動ががさつである				
		物を乱暴に取り扱う				
	②姿勢に偏りがある	転びやすい				
		すぐに寝そべる				
	まっすぐ歩けない					
②その他	(自由記述)					
	①身体発育に問題がある	乳幼児身体発育値(パーセンタイル曲線)により、体重が3パーセンタイル未満及び97パーセンタイルを越えるもの				

身体発達	7 身体発育	②身体発育に偏りがある	乳幼児身体発育値(パーセンタイル曲線)により、体重が10パーセンタイル未満及び90パーセンタイルを越えるもの		A: 子ども
		③肥満である。痩せである	カウプ指数が18以上あるまたは、14以下である		B: かかわり
		④その他	(自由記述)		C: 取り巻く環境
	8 身体的疾患	①肢体不自由の障害がある	(運動機能に影響する)骨関節、神経、筋などの疾患がある		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
			上肢・下肢・体幹機能障害、不随意運動や失調、片麻痺、四肢麻痺等がある。		
			上記と重複する身体障害(視覚・聴覚・言語・内部障害)や知的障害、発達障害、精神障害がある		
		②視覚の疾患がある	見えない、見にくい様子がある		
		③聴覚の疾患がある	聞こえない、聞こえにくい様子がある		
			聞こえない、聞こえにくいことによる言語の遅れ、コミュニケーションの障害、情報の障害がある		
		④内部の疾患がある	心臓機能・腎機能・呼吸器機能、直腸機能、小腸機能免疫機能障害がある		
⑤頻尿・夜尿がある		トイレに頻回行くことで生活や遊びに支障をきたしている			
		トイレに1時間おき程度に行くことが多い			
	年齢にそぐわない夜尿がある(午睡中も含む)				
⑥てんかんと診断されている	無熱時	発作を起こしたことがある			
⑦憤怒けいれんを起こしたことがある		強く泣いたり激しく泣いた時にけいれんを起こすことがある			
⑧熱性けいれんを起こしたことがある	有熱時	今までに1回以上起こした、または、数時間に2度以上のけいれんを起こしたことがある			
⑨その他	(自由記述)				
生活支援	9 アレルギー	①食物アレルギーがある	除去食・代替食が必要である		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
			エピペン、抗アレルギー薬への対応が必要である		
			(アレルゲンについて自由記述)		
		②気管支喘息がある	発作を起こしたことがある		
			薬を服用している(内服・吸入)		
		③アトピー性皮膚炎がある	皮膚に炎症や乾燥がある		
			日常的に強いかゆみがある		
	外用薬・内服薬が必要である				
	④アレルギー性鼻炎がある	鼻閉、鼻汁がひどい。内服薬や治療が必要である			
	⑤その他のアレルギーがある(薬剤・物質・空気日光等)	(詳細について自由記述)			
	⑥アナフィラキシーショックを起こしたことがある	(原因について自由記述)			
	⑦その他	(自由記述)			
	10 極端な癖	①指しゃぶりがあ	幼児期になっても指しゃぶりを続けている		A: 子ども
②爪かみがある		手や足の爪の白い部分が無くなるほど噛む		B: かかわり	
③オナニーがある		性器を触ったり、物で刺激する		C: 取り巻く環境	
④チックがある		極端なチックが見られる			
⑤その他		(自由記述)			
11 食への関心	①食への関心が極端にある	極端に過食である(いつもお腹を空かしている)		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境	
		下に落ちている物を拾って食べる			
		友だちの食事を取って食べる			
	②食への関心が極端にない	極端に少食である			
お腹が空いているが食べようとしない					
③食への関心がある	食にむらがある(食べる時と食べない時がある。時間や場所を含む)				

		④異食を行うことがある	④異食を行うことがある 食べ物でない物を口に入れて食べる		
		⑤その他	(自由記述)		
12 年・月齢で期待する生活習慣に対する遅れ		①食事について	(自由記述)		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
		②排泄について	(自由記述)		
		③睡眠について	(自由記述)		
		④着脱について	(自由記述)		
		⑤清潔について	(自由記述)		
		⑥その他	(自由記述)		
13 こだわり	①身近にある特定のものに興味がある		自分のお気に入りの物を身近に置いたり触ったりすることで安心する		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
			耳たぶなど、身体の一部をつねに触ると落ち着く		
			特定なものに、執着するまたは熱中する		
			極端に好きな物、嫌いな物がある		
	②物をきちんと並べることに興味がある		流水などさらさら光るものにこだわりがある		
			積み木やシールなど、隙間なくまっすぐに並べることを好む		
	③順序に興味がある		1番へのこだわりが強い		
			通園路などで、決まった道順を必ず通りたがる		
			日課や習慣等の変更に対して過度の抵抗を示す		
	④空間・場所に興味がある		お気に入りの場所であれば落ち着いて遊ぶ		
		決めた場所に物などを置く事で落ち着く			
⑤同じ行動をよく繰り返す(常同的行動)		手をひらひらさせる・ぐるぐる回るなど、パターン化された行動が目立つ			
⑥行動にこだわる		特定の習慣や儀式にこだわる			
⑦汚れを極端に嫌がる		汚れることを極端に嫌う			
⑧細かいことを気にする		とても小さい物事や怪我、傷など細かいことを気にする			
⑨その他		(自由記述)			
14 不注意・多動・衝動	①不注意な行動特性がある		遊びの際に、不注意な過ちをする		A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
			遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい		
			面と向かって話しかけられているのに聞いていないように見える		
			指示に従えなかったり、指示した事柄を最後までやり遂げられなかったりする		
			課題や活動の順序立てを行うことが難しい		
			集中して努力を続けなければならない課題を避けたり、嫌がったり、しぶしぶする		
			課題や活動に必要な物をなくしたり、忘れ物が多い		
			外からの刺激で注意がそれる(気が散りやすい)		
			日々の活動で忘れっぽい		
			反省はするが忘れてすぐに同じ間違いを繰り返す		
			片付けが苦手		
			環境の変化(音・光等)に敏感に反応する		
			(自由記述)		
			手足をそわそわ動かしたり、着席してももじもじしたりする		
		活動中や座っていないなければならない時に席を離れてしまう			

集団適応

	②多動的な行動特性がある	余計に走り回ったり高い所に登ったりする	
		静かに遊ぶことができない	
		過剰にしゃべり過ぎる	
		意図的ではなく、とにかくよく動く	
		椅子をがたがたさせたり、座ってられる時間が短い	
		保育室を抜け出し、園庭に小動物などを探しに行く	
		家庭内よりも外に連れ出すと動きが増える	
		(自由記述)	
	③衝動的な行動特性がある	質問が終わる前に思いついたことを言ってしまう	
		順番を待つことが難しい	
友だちがしていることを遮ったり邪魔したりする			
友だちと一緒に活動することが困難			
じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する			
他人の会話や遊びに割り込む			
④その他	(自由記述)		
15 かんしゃく	①短気・かんしゃくを起こしやすい	怒ることで自分の感情を表す	A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
		嫌な時、身体を反り返らせるような行動が見られる	
		困難なことがあるとすぐにイライラする	
		注意されたり間違いを指摘されるとすぐに怒ったり泣いたりする	
②やりたいことを禁止されるとパニックになる	「できない」「僕なんかいないんだ」等の否定的な言葉を使って怒る		
	些細なことで興奮して床に寝転んで泣きわめく、乱暴する、器物を破壊する等が見られる		
	環境が変わったり、予定が変わったり、いつものやり方でなかったりすると混乱する		
③その他	集団遊びで負けた時などは感情を抑えることができない		
	(自由記述)		
16 対人関係	①友だちや人に興味・関心がない。または、極端なかかわり方をする	生後3カ月頃から乳児期にかけて、保護者にあやされても微笑まない	A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
		人や友だちに興味・関心がない	
		仲の良い友だちがいない	
		主に室内で机の下や部屋の隅を好み、一人遊びをする	
		友だちのそばにはいるが、一人で遊んでいる	
		友だち付き合いが苦手である	
		友だちと仲良くしたいと思っても、友だち関係をうまく築けない	
		いろいろなことを話すが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない	
		友だちの表情を読むことができない	
		大人とは上手に付き合えるが子ども同士になるとトラブルが生じる	
		楽しみ、興味、成し遂げたことを他人と共有することを自発的に求めようとしない(見せる、持ってくる、指差すことがない)	
		友だちに暴力や乱暴な言葉を使うことがある	
		周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言ってしまう	
		嫌なことがあるとすぐに物を投げる	
		大人(保育専門職・保護者)を独占する	
		人見知りがなく、誰にでも甘える	

			球技やゲームをする時、仲間と協力することに考えが及ばない			
			動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある。			
			友だちからいじめられることがある			
		②人に対する行動特性がある	大人びている。ませている。			
			他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識・世界」を持っている			
			特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない			
			含みのある言葉や嫌味を言われても分からず、言葉通りに受け止めてしまうことがある			
			会話の仕方が形式的であり、抑揚がなく話したり、間合いが切れなかつたりすることがある			
			言葉を組み合わせ、自分だけにしかわからないような造語を作る			
			誰かに何かを伝える目的がなくとも場面に関係なく声を出す(唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶなど)			
			共感性に乏しい			
			常識が乏しい(決まりきった行動が身につけていない。危険なことがわからない)			
			特別な目つきをすることがある			
			独特な声で話すことがある			
			対人技術発達がゆっくりである			
		③その他	(自由記述)			
運動支援	17 粗大運動	①粗大運動発達がゆっくりである (6「運動・姿勢の偏り」固有受容感覚を除く)	はいはいをししない、不自然なはいはいをする			
			歩行の遅れがみられる			
			怪我や転倒の頻度が高い			
			筋緊張が低い(姿勢保持、前にならえ、ジャンプが難しい)		A: 子ども	
			筋緊張が高い(体育座り、三角座りが難しい。椅子に座った時、足底の全面接地が難しい。姿勢正しく座ることが難しい)		B: かかわり	
			走力の遅れがある		C: 取り巻く環境	
			器具を用いた協調運動発達がゆっくりである(ドリブル・なわとび・自転車・三輪車・ボール蹴りなど)			
	粗大運動発達がゆっくりである					
	②その他	(自由記述)				
	18 微細運動	①微細運動発達がゆっくりである (6「運動・姿勢の偏り」固有受容感覚を除く)	つかみ方、つまみ方等手指の使い方がうまくできない			
			手先が不器用である			
			絵を描く、字を書くことが苦手である(年齢月齢に対して)			A: 子ども
舌やあごがうまく動かせず、声や音になりにくい					B: かかわり	
目と手、手と運動の協応が苦手である					C: 取り巻く環境	
微細運動発達がゆっくりである						
②その他	(自由記述)					
19 言葉での表現	①言葉が出にくい	指さしをししない(三興関係がない)				
		同じカテゴリーの言葉集めが、すらすら出てこない				
		音節削除の言葉遊びが難しい(「たぬき」の「ぬ」を抜いたら何?)				
		音節の想起が難しい(「らくだ」の最初の音は?)			A: 子ども	
		指定の音で始まる単語の想起が難しい(「あ」で始まる言葉をたくさん言ってごらん)			B: かかわり	
		吃音がみられる			C: 取り巻く環境	
		発音が不明瞭である				
		緘黙・場面緘黙である				

②その他	(自由記述)	
①言葉の意味や内容を理解することが難しい	自分の名前を理解していない 言葉による指示の目的を理解できない 相手の話し言葉を理解できない	
②言葉を使って表現することが難しい	言葉の意味を間違えて使うことがある 不自然な言い回しをする(接続詞が使えない) 自分の意思を言葉で表現するのが苦手である	
③物事を考え言葉を使って伝えることが難しい	言葉を使ってのコミュニケーションが難しい 話ができて内容も理解していないことがある 言葉を使って考えるのが苦手 自分の意思をうまく言葉にできない	
④数の概念を理解している(「学びへの力」再掲)	多・少・等(同じ)の理解が難しい 長・短・等(同じ)の理解が難しい さいころを使って遊べない 10までの数唱ができない グループの人数を確認して物を配ることができない	A: 子ども B: かかわり C: 取り巻く環境
⑤推測したり、推理することが苦手である(「学びへの力」再掲)	時間の概念を表すことばの理解が難しい 重さやかさの比較をすることが難しい 丸やひし形などの図形の模写をすることが難しい じゃんけんの勝ち負けがわからない しりとり遊びで次につなげることが難しい 早合点や飛躍した考えをする	
⑥言語発達がゆっくりである	言語発達がゆっくりである	
⑦その他	(自由記述)	
①聞く力	音の聞き間違いがある。(「はな」を「あな」、「ほんこ」を「ほこ」などと聞き間違える) 多音節語を正しく聞き取ることが難しい。(「クリスマス」や「しんかんせん」) ちょっとした雑音でも注意がそがれやすい 相手の話を聞いていないと感じられることがある 簡単な内容や質問でも、誤って理解することがある 複数の指示だと、聞き渡らすことがある 指示を聞き消すことがある 近く(個別)で言われれば理解できるが、遠く(集団)だと理解しにくい 聞いたことをすぐに忘れる ゆっくり話されれば理解できるが、早く話されると難しい	
②話す力	適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す。とても早口) 発音しにくい語がある(音の入れ替え「やわらかい」⇒「やらかかい」・音の誤り「おとこのこ」⇒「おとののこ」) 発音しにくい音がある(「サ行」が「シャ行」に「ラ行」が「ダ行」になるなど) ことばを想起するのに時間がかかったり、ことばにつまったりすることがある 話すときに使う語彙の数が少ない 「行く」と「来る」、「あげる」と「もらう」などの使用に混乱がある	

	明確な語を使わず、指示語を使う。(「これ」、「あれ」などの多用)	
	単語の羅列や、文が短いなどで内容的に乏しい。(「やって」、「紙」、「トイレ」)	
	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	
	内容を分かりやすく伝えることが難しい	
③読む力	「は」と「ほ」、「あ」と「お」などよく似た文字の見分けがつかない	A: 子ども
	絵本を見ようとしていない	B: かかわり
	数字のひろい読みが難しい	C: 取り巻く環境
	同じ文字を繰り返し読んだり、文字を飛ばして読んだりする	
	文字を読むことに興味関心がない	
	文字を抜かして読む(「しかい」を「しか」など)	
	文字を加えて読む(「せんせい」を「せんせいいい」など)	
	文字の順序を読み違える(「とおまわり」を「とおわり」など)	
	文字を混同して読む(「にぐるま」を「にじまる」など)	
	単語を読む際、似たような音を持つ語と混同する(「りす」を「いす」など)	
④書く力	直線がまっすぐ引けない	
	丸の書き始めと終わりが離れている	
	自分の名前をひらがなで書こうとしない	
	なぞり書きが大きくずれる	
	ぬりえで塗りのこしが多かったり大きくはみ出したりする	
	文字を抜かして書く(「しかい」を「しか」など)	
	文字を加えて書く(「せんせい」を「せんせいいい」など)	
	文字の順序を読み違える(「やわらかい」を「やらかい」など)	
⑤数概念を理解する力	上記「言語理解参照」	
⑥推論する力	上記「言語理解参照」	
⑦その他	(自由記述)	

①虐待・貧困・DVが疑われる徴候がある	表情や反応が乏しい	
	おびえた泣き方をする	
	ときおり意識レベルが低下する	
	予防接種や健診をうけていない(母子健康手帳確認)	
	他の子どもや専門職等にうまく関われない	
	かんしゃくが激しい	
	他児に対して乱暴である	
	言葉の発達が遅れている	
	不自然な傷や頻回な傷または、たばこなどによるやけどがある	
	特別な病気でもないのに低体重、低身長、極度の肥満である	
	衣服や身体が不潔である	
	基本的な生活習慣ができていない	
	がつがつした食べ方をしたり、人に隠して食べたりなどの行動が見られる	A: 子ども

虐待・貧困 ・DV  (保育教育環境評価ツ ールより)		むし菌が多い		B: かかわり C: 取り巻く環境
		衣服を脱ぐことに異常な不安をみせる		
		他人との身体接触を異常にこわがる		
		発育、発達に極端な偏りが見られる		
	②虐待・貧困・DVが疑われる環境で生 活している		地域の中で孤立している保護者と生活している	
			子どもや他者に対して否定的な態度をとる保護者と生活して いる	
			他者との関係が持てない保護者と生活している	
			子どもに関する他者の意見に被害的、攻撃的になりやすい 保護者と生活している	
			子どもへの態度や言葉が拒否的な保護者と生活している	
			子どもの扱いが乱暴で冷淡な保護者と生活している	
			小さい子どもを残してよく外出する保護者と生活している	
			子どもがなつかないと言う保護者と生活している	
		子どもと全くかかわろうとしない(放任)保護者と生活してい る		
	③その他	(自由記述)		